



地域支援部だより



宮城県立利府支援学校 地域支援部

2024. 7. 18 No.2 発行

分校（富谷校・塩釜校）の交流活動

利府支援学校にある二つの分校（富谷校・塩釜校）は、それぞれ小学校の校地内に校舎があります。登下校のとき、校庭で遊んでいるときなど、分校と小学校の児童が顔を合わせる機会が本校に比べて多く、分校の特色の一つとなっています。今回は、そんな各分校の小学校との交流の様子をご紹介します。

富谷校

富谷校は、1～6年生43名の児童が通学しています。校舎は富谷市立富ヶ丘小学校の中にあり、廊下ですれ違ったり校庭で一緒にの時間に遊んだりして、共に学校生活を送っています。5月に行われた富ヶ丘小学校運動会の総練習では「丘小ソーラン」に合わせて、鳴子を手に持ち元気いっぱいに応援することができました。6月に行われた富谷校の運動会では、富ヶ丘小学校の皆さんから応援メッセージをいただき、頑張ることができました。各学年部の交流も少しずつ始まります。7月には、低学年と支援学級の友達が乗り物遊びをし、楽しく活動することができました。



塩釜校

塩釜校は、1～6年生の27名の児童が在籍しています。今年度最初の交流活動は、4月に第二小学校の学校探検をしました。まずは校長室に入り、第二小学校の校長先生へご挨拶。その後は図書室で気になる本を探してみたり、特別支援学級にお邪魔して友達が勉強している様子を見学したりしました。6月には第二小学校の3年生が総合的な学習の時間の一環として塩釜校の校舎内を見学しました。見学を通して塩釜校をより身近に感じられたようで、時々校庭で出会うと遠くから手を振って挨拶してくれる場面がありました。交流活動を通して、塩釜校と第二小学校の子供達の距離が少しずつ縮まっていくことを期待しています。

